

旅立ちの春おめでとう

コロナウィルス感染対策で、休校措置が取られるなど、日常が失われている学校現場ですが、子ども達はシッカリ前を向いて、晴れの卒業式を迎えました。思い出を胸に、次の舞台へ羽ばたいてください。



高穂中「感謝の気持ち」を忘れずに

高穂中学校(中瀬悟嗣校長)の第36回卒業式が3月14日、同校体育館で行われ、299人が卒業しました。今年度は新型コロナウイルス



応援旗をバックにあいさつする卒業生代表

見守る中、担任による卒業生呼名の後、中瀬校長から代表に卒業証書が授与されました。式辞の中で中瀬校長は「高穂中学校で学んだワンチー

ム「ワン高穂」の精神の根底には『感謝の気持ち』があり、それが人を紡ぎ、個人にとっても集団にとっても大きな力となる。これからも『感謝の気持ち』を忘れず大いに飛躍してほしい」と話しました。

また、卒業生代表のことばでは、2名の代表が中学生生活の思い出を語った後、先生方をはじめ家族への感謝のことばを述べると、会場内も大きな感動に包まれる中、厳粛な式を終了しました。

志津南小 新しいことにチャレンジを



例年であれば、十分に練習をしてから当日を迎える六年生の子どもたちですが、今年度は新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐために臨時の休業措置がとられたことで、そのための時間を設けることができず、緊張と不安でいっぱいだったことと思います。

志津南小学校(水野晃校長)では3月19日、令和に入って最初の、第33回卒業証書授与式を開催しました

しかし、あたたかく優しい雰囲気の中で進められたこともあり、子どもたちは堂々とした態度で参加することができました。



中学生になっても、周囲に対する優しさを忘れずに、チャレンジしてほしいと願っています。

くるみ保 たくさんの祝福を受けて… 緑波くるみ保育園(服部登志夫園長)で3月20日、令和元年度卒園式が行われました。卒園式では、園長先生から修了証書を受けとったり、お別れの言葉や歌を年長さんと職員で歌いました。また、写真のスライドショーが流れ、お泊り保育や運動会、発表会など色々な思い出が蘇りました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、保護者のみの参加となりましたが、たくさんの祝福を受け、49人が卒園していきま



パッチワーク・キルト
いま 輝いてますか

太陽がサンサンとあたたかい空が青く ゆっくりと雲が流れて光が ひとつひとつ 輝いて異なった表情で木々に花にあたって輝いている 小鳥の囀(さえず)りに耳をすませると…… (創作手芸作家 三尾三紀子)



コロナ

「日常」のありがたさを痛感

「おかあさん、安倍さんが全国の学校を休校にするって言うてはる〜」青天の霹靂とはまさにこのこと。はてさてどうしよう。

子どもたちも学校行きたいの大合唱。そりゃさうだ。でも仕方ない。せめて普段なかなかにできない事でもしようじゃないかと思いつき、まずは図書館へ。いつもの読み物だけでなく料理やなんやと本を借り、製菓材料や食材も

買った。こんな気持ちでスタートしたはずなのに、朝昼晩の食事に追われ、片付けてもなお散らかる部屋とダラダラするか大騒ぎするかの時間を過ごす子どもたちを見てとんどんイライラが募り、時折噴火を繰り返す私。でもあなたたちが寝た後は、明日はちょっとでも楽しく過ごそうと母も反省しているのだよ。

この気持ち、伝わってないだろうなあ。怒りの母でいようよ、子どもたち。

このコロナ騒動で一番感じたことは日常の有難さ。当たり前だと思っていたものへの感謝が増した。こうやって自分を振り返ると反省も感謝もいっぱいのはずなのに、朝を迎えると子どもたちとぶつかる日々。

よし、せっかくできたこの時間、小言セロは無理だけど、1分でも笑える時間を増やそう。仏の母には程遠いけど、この時間もよかったと最後に言えるといいな。

(志津南小保護者)

コロナ 安心安全見守り活動実施

志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は3月9日と11日の二日間、各所で安心安全見守り



活動を行いました。写真。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校から1週間。普段と違う生活リズムの様子を知ろうと、追分南地区11ヶ所、若草岡本地区13ヶ所の児童公園を中心に回りました。子どもたちは休校の約束をしっかりと守っているようで、戸外で遊ぶ姿はあまり見かけませんでした。同時に小学校と児童保育施設を訪問し様子を見ました。

また「感染症対策」等のチラシを持って、地域サロンや高齢者のお宅を訪問し、近況を伺いながら注意喚起に努めました。

新型コロナウイルスの感染状況や注意事項など、皆良く承知していて、物不足や店頭から物が無くなる事態にも日ごろから備えをしておられる方が多く感じました。

一方で、楽しみな集회가次々と休止になり閉じこもりがちが続く「人と話す機会が減り、運動不足になります」と困ったことも出てきているようです。世界中に広がりを見せて

いる新型コロナウイルスが「通の日々が戻ることを願う一日も早く終息に向かい普」ばかりです。

安全配慮で「六送会」中止

お土産配布の準備をする役員



かがやきの丘子ども会(永井幸子会長)は3月15日、六年生を送る会で44人の六年生の卒業をお祝いする予

「卒業おめでとう。ありがとう」の気持ちを伝える場が持たなくなってしまったのは、非常に残念です。子ども会の会員の皆さん

定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止しました。分団登校では下級生を見守ってくだされたり、小学校内では縦割り班遊びなどで一緒に遊んでくれた六年生に「卒業おめでとう。ありがとう」の気持ちを伝える場が持たなくなってしまったのは、非常に残念です。

には、会の終了後にお土産を持って帰ってもらう予定でしたが、今回は、子ども会の役員より各ご家庭に配布しました。子ども会会員の保護者の

公園などにベンチ寄贈



若草地区を拠点に営業されている不動産業者が、ベ

ンチ7台を寄贈してくださいました。写真。新型コロナウイルス感染症拡大防止の自粛を受けて、多くの住民は自主的に活動を中止しています。特に高齢者が行き場所を無くし、癒しの場として公園での散歩が目立っていますが、休憩するベンチが少数で困っていたところでした。老朽化しているバス停のベンチにも活用させていただきます。



だるまさんが

最初の一冊は、子ども達に大人気の「だるまさんが」です。ユーモアあふたつぷりの魅力的な絵と、その絵にぴったりに当てはまる言葉、だるまがころんだり、おならしたり、ウィンクしたり、ページ



かがやきの丘 さくプロダクション

をめぐるとたびにワクワクします。

場面によってだるまの表情が変化しますが、その小さな違いを子ども達はすぐに見抜いて、めいっばい楽しんでくれます。

数多く読み聞かせをして

いますが、読み終わった直後に必ずといってよいほど「もう一回読んで」とリクエストをもらう絵本です。

「だるまさんの」と「だるまさんと」が続いて発行され、三冊シリーズとなって、どれもおもしろいです。

「ポイント」文字の雰囲気のままに 文字の形や間隔にも注目して、雰囲気そのまま素直に声を出してみましよう。

(中西ひとみ)

大勢で食べるとおいしいね



追分南町

内会「元氣くらぶ」は2月28日、グルメサロン(豚肉と水菜のハリハリ鍋)を開催しました。写真。

今回のグルメサロンで何と12回目を迎えました。いつ

もながら、ボランティアの方が役割分担して、買い出しから鍋の準備や野菜の盛り付けなど手際良く準備していただきました。また、野菜は町内の方が家庭菜園されている新鮮な水菜を提供していただきました。

開催予定の12時には準備が整い、6テーブルで用意された鍋に具材を入れまし

た。鍋に湯気が上がるとテーブル毎に、参加者が豚肉、水菜や丁字麩を器にとりおいしそうに食べました。モチモチした豚肉にシャキシャキとした水菜の歯ごたえが何とも言えないおいしさを醸し出し、具材の味を吸った丁字麩も柔らかくとてもおいしかったです。家庭で少人数で食べる鍋より大人数で食べる鍋はおいしいと大好評でした。

最後はうどんで締め、参加者31人で完食しました。

高齢化問題 活発に意見交換



づくりセンターで開催され志津南区からは5カ所のサロン代表が参加しました。写真。市内には157カ所ですが、当日は47のサロン代表、市関係課、龍谷、立命館大学の学生やボランティアが参加し盛大に行われました。

「地域サロンボランティアの新魅力発見 つながりで越えちゃったゲーム」と題して、10カ所に分かれたグループが「高齢者の困りごとカード」の20項目を基にフリートークで活発な意見交換をしました。

やはり各地域とも高齢化が進み、意見として多く出たのが「車での送り迎え」に関する事でした。

地域サロンは、地域に交流の場をつくり楽しく過ごすことで、閉じこもりや寝たきりなどの予防にもなり、また、近隣での「助け合い」を育む地域づくりにつながり「おたがいさま」と言える支えあい活動です。

現在、志津南区には「懐メロを歌う会・志津南いき

草津市社会福祉協議会主催の第12回地域サロン交流会が2月14日、草津市まち

コロナ、コロナ...で、お疲れでしょうか。

春休みなのに、どこへも行けない。お花見もできない。それなら、紙面でお花見でもしていただくのうか。

明けない夜はありませぬ。世界が危機でも、変わらなほころんでくれる花に元気をもらって、頑張らましよう。

(写真は志津南小学校正門)

春爛漫



芝桜の花が見頃を迎えています。樹木の桜に続いて芝桜の花見を楽しんで下さい。新型コロナウイルス対策で家に閉じこもりの日々が続いている昨今、気分転換にお出かけ下さい。

芝桜の花が見頃を迎えています。樹木の桜に続いて芝桜の花見を楽しんで下さい。新型コロナウイルス対策で家に閉じこもりの日々が続いている昨今、気分転換にお出かけ下さい。

芝桜見頃です



いきクラブ・お茶の間・かがやき・かがやきの丘なごみ会・一味クラブ・元氣クラブ・みまわり隊・岡本西サロン友の会の9サロンが活動中です。

調整池沿いに整備された花壇
ていいます。定例活動日は毎月第1火曜日(中止の場合は第2火曜日)朝8時30分に中央公園藤棚付近に集合で活動していただきます。草花等の栽培育成に興味のある方は、是非、覗きにきて下さい。お待ちしています。

- パソコンの駅
- パソコンについての相談
- ▽4月25日(土)、5月26日(火) 13時〜16時
- ▽志津南まちづくりセンターサロン
- ▽参加費 500円/30分
- 地域役員のご相談は無料
- ▽申し込み 事前に30分刻みで、時間をご連絡ください。必須ではありませんが、お待たせする可能性があります。
- ▽電話 (063) 62006

- 資源回収
- 毎月第1・3日曜日
- ★若草1〜5丁目町内会
- 毎月第2・4日曜日
- ★若草6〜8丁目町内会
- 岡本町西町内会
- 毎月第2・4土曜日
- ★かがやきの丘町内会
- 毎月第1・3土曜日
- ★フォレストローズ子供会
- 毎月第2日曜日
- ★向山子供会
- ※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・古着

随想 思いのままに



ある本を読んでいると「人生を変えた二つの言葉」という、とっても良い話が書いてありましたので紹介します。

プラス思考 今度こそ

ある男が事業に失敗し、その結果奥さんも彼に愛想をつかしてしまい、彼は自殺しようかと考えていました。しかし、その前に自分の幼なじみにだけ会ってみようかと、精神科医をしている友人を訪ねたのです。

この友人は「悩み相談」の事務所も開いており、そこへ相談に来た人達の録音

これを聞いた男は死のうと思っていたのを思い直し「今度こそ」という気持ちで出直してみようと考え、再度ゼロからスタートして事業に取り組み、ついには見事に成功したのでした。

後年、T新聞記者に「あなたの成功の理由は？」と聞かれ「あのどん底の時に友人に聞いた二つの言葉のおかげだ」としみじみ語ったそうです。

どんなことでもプラスに考えるかマイナスに考えるかで、その結果は大きく違ってきます。

我々も「今度こそ」の気概をもって取り組みたいものです。

(T・A)